

地域福祉学習事業

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

平成26年度 活動実践報告

(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

【目的】

- 幅広い体験や活動を通して、他を思いやる心を持ち、進んで行動する児童を育成する。

【内容】

5年生

- 障がい者の方の生活の様子や思いを資料や模擬体験などを通して知り、地域の自分たちができることを考え実践することができた。
- 介護士の方のお話やもちのき園などの施設を訪問し、交流したことを通して、高齢者福祉・障がい者福祉に関心をもつことができた。
- 調べて分かったことを資料にまとめ地域の方に伝えることができた。(11月の校区祭)
- 日本赤十字の活動と連携をして、一人暮らしのお年寄りに暑中見舞いや年賀状を書いた。

【成果】

障がいのある方や高齢者の方の疑似体験を通して、福祉の心を養うことができた。関係施設の訪問や介護士からお話を聞き、自ら課題意識を持ち、自分たちができることは何かを考えて活動することができた。



下宮小学校

【目的】

- 様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

【内容】

<総合的な学習の時間>

自分と立場が違う人のことを理解して、相手の立場に立つことの大切さと思いやりの心を育て、実践意欲を高める。

(1) 高齢者、障がいのある方々の疑似体験(車椅子体験)

- 目の不自由な方に接するとき、どのように手をさしのべるとよいのかを考える。
- 耳の聞こえにくい方に対して、どの位置で、どれくらいの声量で話せばよいのかを考える。
- 車椅子を操作する体験を通して、日常生活の大変さや工夫を知り、相手の立場に立つことの大切さを考える。
- 車椅子の方を介助する体験を通して、どのように接すれば相手の不安がなくなり、快適に生活できるのかを考え、実践する。



(2) デイサービスセンター訪問

- ・職員の方に事前に利用者の方と接する際の心構えや注意点を聞く。
- ・利用者の方との交流や施設の見学をする。

(3) 学んだことをまとめる

- ・福祉について学習したことを班で話し合う。
- ・学んだことをまとめ、発表会を行う。

**【成 果】**

- ・デイサービスセンターの訪問を通して、福祉について興味をもち、より正しい知識を身に付け、自分たちにできることを考えることができた。
- ・障がいのある方や妊婦、高齢者疑似体験を通して、相手の立場に立つことの大切さを知り、実生活の中でできることを考えて実践していこうという態度を育てることができた。

南平野小学校

【目 的】

- ・福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

【内 容】

○ 美化活動

- ・8月に実施。運動場や校内の清掃活動を全校で行った。

○ 心の教育推進活動

- ・年間を通して、植物や生き物の世話をを行い、生命の大切さについて考える指導を行った。
- ・グリーンカーテン設置に伴って、プランターの整備や植物の世話等を行った。
- ・校区祭の日を「親子ふれあい弁当の日」として、家族で弁当を協力してつくり、学校で一緒に食べ、食育への関心を深めた。

○ 伝統文化・達人の技の継承

- ・地域の達人から学ぶ(クラブ)(茶華道、俳句、絵手紙等)
- ・へちま作り、果樹園・農園の栽培活動

○ 福祉学習【社会 総合的な学習の時間】

- ・4、5年：障がいをもった方やお年寄りとの関わり方についての体験や調べ学習を行い、11月に発表会を開いた。
- ・デーサービスセンターや子ども支援センター等の訪問
- ・特別支援学級の児童との交流

○ 地域への訪問・交流を年間を通して実施

- ・1年：幼稚園との交流 伝承遊び

○ 学校行事への招待

- ・運動会 ・感謝する会 ・校区祭(学習発表会)

○ 環境委員会の活動

- ・ペットボトルのキャップ回収 ・アルミ缶回収 ・一円玉募金

○ 教職員の資質向上

**【成 果】**

- ・障がいをもった方やお年寄りとの関わり方の学習を通して、福祉活動に関する理解を深めることができた。
- ・地域人材を活用した伝統文化を学ぶ活動や各交流活動、環境の学習・整備を通して、地域の方とのふれあいを深めると共に地域を知り、地域を大切にしたい気持ちをもつことができた。

北小学校

【目 的】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的、計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

【内 容】

○ 高齢者や障がいのある方とのふれあい活動や手話学習の実施（「総合的な学習の時間」等）

- ・特別養護老人ホーム「りんどう」の訪問
- ・高齢者や障がい者の生活疑似体験活動
- ・人権学習（ひびきあいの学習）
- ・総合的な学習の時間で学んだことを発表（学習発表会）

○ 祖父母参観・ふれあい教室など学校行事等でのふれあい活動

- ・祖父母や公民館関係の講師との交流
- ・登下校時における見守り隊の方との交流

○ 異年齢集団による交流

- ・1年生と北幼稚園の交流（軽スポーツ・伝承遊び）
- ・ゆ〜ゆ〜班によるふれあい活動（大縄跳び等）

○ 授業（クラブ・総合的な学習の時間）での地域や保護者の方とのふれあい活動

- ・クラブやおはなしひろばにおける講師
- ・野菜や米作り、みかん作りにおける体験活動
- ・町探検での交流（1～3年生）
- ・音楽療法や太鼓の活動における特別支援学級の支援



【成 果】

- ・高齢者や障がい者とのふれあいや手話の学習等の活動を通して、高齢者や障がいを持つ方への理解を深め、自分ができることは何かを考えることができた。
- ・保護者や地域との連携により、学習活動の充実が図られ、地域全体で支え合う温かい絆づくりが推進できた。
- ・幼稚園や異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心と高学年としての自覚が育ってきた。

神戸中学校

【目 的】

- ・福祉委員会を中心に、町社会福祉施設との交流を行い、他者を思いやる心を育てる。
- ・地域の掃除、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。
- ・植物を育て、役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

【内 容】

1. 「もちのき園」との交流 ・入所者との交流 ・作品づくり
2. 校内での植物育成 ・農園での栽培 ・特別支援学級との交流 ・鉢花の育成
3. 地域行事ボランティア活動 ・山王祭 ・どんとこい祭り

【成 果】

1. 神戸町社会福祉施設「もちのき園」で福祉委員会の生徒を中心に交流を行い、アクリルたわし作りを行った。作品はバザーに出品されて好評を得た。
2. 卒業式会場の生花を各教室で育て、式場を飾った後、一部を「もちのき園」に寄贈。残りは引き続き学級で世話をし、新入生各学級に配り、入学式を迎える。
3. 特別支援学級の生徒との交流のために、校内農園で作物を育てた。できた作物で交流の中で調理実習を行い、生活科の題材とした。



どんとこい祭りボランティア



もちのき園でのアクリルたわし作り



イチゴジャム作り